



那賀高校生へ森林環境教育を行いました

平成28年度から人材育成支援の一環として取り組んでいる那賀高校森林クリエイト科への森林環境教育ですが、本年度は新型コロナウイルスの影響で1学期は中止、2学期からの実施となりました。

そして3学期の第一回目として、1月13日(水)に3年生17名に対して、この3年間で学んだことを振り返り、テーマ1「地域材、県産材の需要を拡大するためには、どのような取組が必要かと思うか」、テーマ2「AIやICT等の先端技術の森林・林業への応用についてどのような事が考えられるか」の2つについてグループ討議を行っていただきました。

テーマ1には、「地域・県産材をブランド化し、その木材を使って建築材や商品を開発する」などの意見、テーマ2には、「ドローンを活用した測量や、AIを用いて高性能林業機械を無人化又は遠隔操作ができるようにする」など、これまでに学んだ知識を踏まえた意見が多く出され、有意義な討議になりました。徳島署では、引き続き那賀高校のニーズに合った森林環境教育に取り組んで行くこととしています。



グループ討議の様子



討議内容発表の様子



子供たちへの森林環境教育を開催しました

1月14日、徳島市立八万東保育所において、子供たちを対象とした「森林環境教育」を行いました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、開催が遅くなりましたが、12月に第1回目を開催し、今回で2回目の開催となりました。

はじめに、自然を大切にす気持ちを持ってもらう事を目的として、植物の冬芽が春にむけて準備をしている様子(ふゆめ がっしょうだんの絵本の話)を学んでもらいました。

当日は、NHK 徳島の取材もあり、最初は子供たちも少し緊張した様子でしたが、その後、子供たちが楽しみにしていた「木工制作(鉛筆立て)」では、それぞれに木の枝や木の実、端材を上手に組み合わせながら、思い思いの鉛筆立てを作っていました。

徳島署では、今後もこのような森林環境教育を通じ、森林環境への理解を深めるきっかけとなる取組を積極的に行ってまいります。



絵本の話聞いている子供たち



鉛筆立ての材料を選ぶ子供たち



鉛筆立て作成中の子供たち



NHKの取材を受ける子供たち

第60回治山研究発表会で最優秀賞を受賞しました

この発表会は、治山研究会主催で、今回が第60回目の開催となりました。これは、令和2年10月21日(水)に、徳島県神山町坂丸の民有林において、徳島県、神山町、四国森林管理局、徳島森林管理署などが参加して開催した、「災害時情報収集演習」について、徳島県と徳島署の担当職員の間で、「ドローンを活用した民連携による取組」を開催したこともあり、県の亀谷さんと署の敷地さんが代表して発表を行いました。発表内容については、上記の演習を行うに至ったきっかけや、演習を実施したことから判った課題、その解消に向けた今後の取組についてとりまとめて発表しました。

発表会は、例年であれば東京の会場にて開催されますが、今回はコロナ禍のためWebによる発表会となり、11月5日(木)~16日(月)の期間、Web上で公開され、審査結果は「最優秀賞」を受賞しました。

徳島署では、今後も山地災害が多発する中、状況を迅速かつ正確に把握するため、徳島県等の関係機関との連携を強化し、技術の伝承・人材育成に向け、取組を進めてまいります。



伝達で表彰状を受け取る二人



敷地さん(左)と亀谷さん(右)



表彰状と関係職員との記念撮影



最優秀賞の表彰状



徳島県庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林